

京田辺市歴史資料共同調査

井上 真美

2014年度から、地域貢献型特別研究費 (ACTR) の事業として、「京都歴史資料の調査・活用・公開―舞鶴幼稚園と京田辺市―」(代表：東昇) の調査と研究が実施されている。京田辺市教育委員会から、市に寄贈された近世近代歴史資料の整理をおこない、報告書を共同で刊行するという提案がなされたことで、昨年度に引く続き、京田辺市歴史資料共同調査をおこなった。以下に、調査内容の概要を述べる。

第1回京田辺市歴史資料共同調査概要

2015年6月15日、第1回京田辺歴史資料共同調査をおこなった。学部生は主に近世文書、院生は近現代の書状の一部の目録を作成した(写真1)。目録には、文書名や文書作成年代、差出、宛先、文書の内容のほかに、虫損といった文書の状態を取っている。また、調査と並行してケーブルテレビの取材を受けた(写真2)。その際、共同調査で扱っている文書の解説、目録作成にあたって注意する点や実際に文書を扱うことへの感想などが語られている。

第2回以降の共同調査概要

第2回以降の共同調査は、月に一度程度のペースで実施され、第1回共同調査で残った文書の目録の作成をおこなった。主に近現代の文書が多く、その中には、個人の日誌や記録が残されていたため、当時の生活を知ることができる貴重なものであることが調査からわかった。2016年1月21日の調査にて、おおよその目録作成が終了し、その後、目録の修正作業と文書の写真撮影をおこなった。



写真1 目録を取る学生と院生



写真2 インタビューを受ける院生